



上野国分尼寺の想像画(全景)

上野国分尼寺は、平成28年から発掘調査が進められています。これまでの調査で、寺院の重要な建物が集まる伽藍地の範囲が分かりました。また、本尊を安置した金堂や、金堂につながる屋根のある回廊の規模などを確認。さらにこの結果を踏まえ、

これまでの発掘調査で分かったこと

6月24日に開催された国文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、上野国分尼寺跡を国史跡に指定するよう、文部科学大臣に答申がなされました。すでに国史跡に指定されている上野国分寺跡と共に、古代の仏教文化や国分寺制度を理解する上で欠かせない重要な遺跡として評価されました。

上野国分尼寺跡(東国分町)は、6月24日に、国の文化審議会から国史跡に指定するよう答申されました。今回号では、これまでの調査の経緯や、国史跡指定を記念した講演会などについてお知らせします。問い合わせは、文化財保護課(☎027・321・1292)へ。

上野国分尼寺跡が 国史跡に指定へ

本市が誇る古代遺跡



高崎だるまミュージアム(仮称)の外観イメージ。親しみやすく、インパクトのあるデザイン

基本構想がまとまりました

高崎だるまミュージアム(仮称)



問 観光課 (☎ 027-321-1257) 市ホームページ

施設整備の基本方針は

「高崎だるまの歴史や伝統を未来へ発信します」

高崎だるま®の伝統を守り、歴史や文化を国内外に発信することを目的に「高崎だるまミュージアム(仮称)」の建設検討を進めています。建設にあたり、地元の商店会や県達磨製造協同組合、大学生、高校生で構成された建設検討会議を設置。これまでに3回の会議を行い「伝える」「学ぶ」「受け継ぐ」「結ぶ」の4つの基本コンセプトのもと、体験工房や展示室、ミュージアムショップなどを整備するという基本構想が策定されました。

豊岡新駅(仮称)の隣接地に整備

同ミュージアムは、市とJR東日本が整備を進める「豊岡新駅(仮称)」の隣接地に建設。同駅と同じく、令和8年度のオープンを目指します。



当時の寺院の様子を想定した想像画を制作しました。

国史跡答申記念講演会を開催

上野国分尼寺跡を多くの人に知ってもらうため、記念講演会を開催します。同寺跡の発掘担当者による調査結果の報告や、調査検討委員による研究成果の講演を実施。さらに当日会場で、同寺跡の出土品を展示します。

日時 8月24日(土)午後1時(正午開場)
会場 市民活動センター・ソシアス
定員 先着240人
入場料 無料
申込 当日直接会場へ

市ホームページ



上野国分尼寺の発掘調査から見える「女性」の活躍

尼寺は、正式には法華滅罪之寺といえます。奈良時代の天平13年(741)、聖武天皇は疫病などの社会不安を仏教の力で解消するため、全国に国分僧寺(金光明四天王護国之寺)と共に尼寺の建立を命じました。しかし建立には地方の負担が大きく、尼寺は僧寺より遅れて造られることも多かったようです。

ところが本市による発掘調査の結果、上野国(現在の群馬県)では尼寺の成立が全国的にも早く、僧寺と

ほぼ同時期に建立されたことが判明。尼寺の造りも他の国と比べてしっかりしたものでした。

上野国分尼寺からは、瓦を寄進して建立に協力したとみられる人物名を刻んだ文字瓦が出土しました。古代上野国の人々が国分尼寺建立に力を注いだ様子がうかがえます。さらに、古代の石碑・上野三碑にも女性の名前が登場。上野国で女性が活躍していた様子が分かります。



瓦に刻まれた人名「真弓」